

地域の教育力の活用のために

～なぜ教師と子どもの地域参加が重要なのか?～

日時:6月25日(木)17:15~18:30(5時限目)

今回の教職教養講座では、相模原市の中学校に長年勤務され、今年4月に東海大学資格教育センターの特任教授に着任された江森克弘先生に、「地域の教育力の活用」をテーマにお話しいたします。

「地域の教育力の活用」というと、地域が学校を支え、学校教育を充実させるという一方向の関係を思い浮かべがちです。しかし、本来、学校と地域は互いに支え合う双方向的な協力関係を築く必要があります。そのためには教師や子どもが地域の活動に参加し、地域を知り、地域づくりに関わるのが欠かせません。

江森先生は、複数の中学校で10年以上にわたり、地域と学校をつなぐ取り組みに携わってこられました。土曜学習教室や自然を活用した体験活動などの実践への関わりを通じて、地域と学校が互いに支え合うことで生まれる学びの充実を実感されたといえます。

しかし同時に、江森先生は学校と地域の連携をめぐる課題にも直面されました。その一つに、コロナ禍を経てより顕在化した地域の結びつきの弱体化があります。そのような状況だからこそ、教師や子どもが地域に参加することがなお一層求められます。けれども、その実現は容易くないでしょう。そこには教師の働き方改革との両立などの問題があります。こうした課題を前に、江森先生がどのような工夫を行なったのか、そしてこれからの学校と地域のあり方をどのように展望されているのかについてもお話しいただく予定です。

講師:江森 克弘 先生

(東海大学資格教育センター特任教授)

会場:湘南校舎 14号館 203教室

参加方法:右のフォームからお申し込みください

<https://forms.cloud.microsoft/r/a24sNQ5VFh>



教職教養講座とは?:教職課程の普段の授業では深く学ぶことができないテーマについて、さまざまな分野の講師を学外からお招きして行う特別講義。

今回は2026年度の第1回目、通算で第31回目の開催となります。

問い合わせ先:資格教育センター 西本(nishimoto.kengo.t@tokai.ac.jp)